

Biz/Browser for PDA

カシオ計算機様 DT-950

機能仕様書



バージョン 1.0.0.3

最終更新日 2005/04/08

アクシスソフト株式会社

改訂履歴

年月日	バージョン	内容
2005/02/23	1.01	記述追加並びに修正
2005/03/22	1.0.2	5.1 BizBrowserPDA.exe をバージョンアップする際の注意点 追加
2005/04/08	1.0.3	5.2 BizBrowserPDA.exe のファイル名について 追加

このドキュメントについて

本仕様書は、Biz/Browser for PDA の DT-950 版固有の機能を解説したものです。

PDA 版につきましては、Biz/Browser for PDA 版評価キットの添付資料をご覧ください。
また、Biz/Browser の仕様に関しましては、PC 版の HELP をご参照ください。

目次

1.	オブジェクトについて.....	5
2.	メニュー関係.....	6
2.1	ログイン.....	6
2.1.1	URL 一覧表示.....	6
2.1.2	URL の削除.....	6
2.2	ファイル- 開く.....	6
2.3	ファイル- アプリケーションの終了.....	6
2.4	表示 - キャッシュ設定.....	6
2.4.1	キャッシュの削除方法.....	6
2.5	ヘルプ- バージョン情報.....	6
2.6	ステータスバー.....	7
3.	ハードウェアのボタン関係.....	7
3.1	矢印ボタン 数字ボタン.....	7
3.2	Function ボタン.....	7
4.	アプリケーションの起動に関して.....	8
4.1	DT-950 のメニューにショートカットを登録する。.....	8
4.1.1	プログラムメニューへの登録方法.....	8
4.2	ログイン画面で URL を入力または履歴リストから選択する方法.....	8
5.	その他.....	8
5.1	BizBrowserPDA.exe をバージョンアップする際の注意点.....	8
5.2	BizBrowserPDA.exe のファイル名について.....	8
6.	添付資料.....	9

1. オブジェクトについて

下記は、PDA版でサポートされていてDT-950で実装されていない機能のオブジェクトベースでの一覧です。プロパティ、メソッド、イベントベースでの仕様に関しましては「PC版(V4)との仕様差異」を参照してください。

移植対象外のオブジェクト

ListBox
ListItem
PullDownList
NumberEdit
DateEdit
TabFrame
TabForm
TreeView
TreelItem

2. メニュー関係

画面を広く使用するため、メニュー並びにステータスバーは DT-950 版では表示されない仕様です。
PDA 版でメニューに存在する機能は、下記の方法で実現します。

2.1 ログイン

ログイン画面の入力欄に URL を入力してファイルを開くことができます。

2.1.1 URL 一覧表示

一度実行した URL は、テキストボックスの下にリストとして表示され、上下キーで目的の URL を反転させて実行することができます。

2.1.2 URL の削除

一覧から削除指定 URL を選択して[CLR]キーを押すと、確認のメッセージ画面が表示され「はい」を選択して削除します。

2.2 ファイル- 開く

PDA 版に存在する本機能はありません。プログラムの引数として URL を指定してください。

引数はショートカットのプロパティで設定します。

具体的な指定方法は「4.1.1 メニューへの登録方法」を参照してください。プログラム起動時に有効な URL を引数として指定しない場合にログインページが表示されます。

2.3 ファイル- アプリケーションの終了

[Fn キー] [0 キー]の押下。

2.4 表示 - キャッシュ設定

PDA 版に存在する本機能はありません。

キャッシュの容量は「上限値なし」の仕様です。

2.4.1 キャッシュの削除方法

PDA 版に存在するキャッシュの削除方法はアプリとしては用意していません。キャッシュを削除する方法は下記の方法で行います。

- ・ 手動
PC からActiveSync 経由で【biz¥users¥default¥cache】フォルダ内に保存されているキャッシュファイルを削除します。
- ・ アプリケーションに組み込む(CRS スクリプトでの操作)
アプリケーションの管理機能に DeleteCach 関数を使用してキャッシュを削除する機能を実装可能です。

2.5 ヘルプ- バージョン情報

[Fn]キー [9]キーの押下。

2.6 ステータスバー

PDA 版に存在する本機能はありません。

3. ハードウェアのボタン関係

本ソフトで使用するハードウェアのボタンを解説します。

3.1 矢印ボタン 数字ボタン

Biz/Browser の基本機能でのイベントハンドラ(DT-950 専用としてではない)にて、上下矢印ボタン、数字ボタン押下時のキーイベントを拾い、イベント処理を設定することで項目移動を行います。

3.2 Function ボタン

- [F1] ~ [F8] : DT-950 の機能 (画面の明るさ切り替えなど)の実行
- [Fn] [F1] ~ [F8] Biz/Browser のアプリケーションで F1 ~ F8 に設定したキータッチイベントを取得

4. アプリケーションの起動に関して

アプリケーションを起動する方法は、下記の方法があります。

4.1 DT-950 のメニューにショートカットを登録する。

業務で使用する場合は、使いやすさの点から適当と思われます。

4.1.1 プログラムメニューへの登録方法

ActiveSync を使用して¥Windows¥プログラムに BizBrowserPDA.exe のショートカットを作成します。

1. ActiveSync でDT-950 上の BizBrowserPDA.exe のショートカットを作成する。
2. 上記のショートカットを PC にコピーして引数に URL を記述する。
3. 編集したファイルを¥Windows¥プログラム¥ユーザー・アプリケーションフォルダにコピーする。

4.1.1.1 URL の指定例

例) “¥bizbrowserPDA.exe” http://172.172.0.1//login.crs

4.1.1.2 プログラムメニューの表示文字列

ショートカットのファイル名を変更することにより、プログラムメニューに表示する文字列を変更することが可能です。

4.2 ログイン画面で URL を入力または履歴リストから選択する方法

本ソフトを引数を指定しないで起動した時は、ログイン画面が表示されます。

ログイン画面の URL 入力欄に一度記入した URL は、次回本プログラムを起動すると一覧で表示されます。

この一覧の URL を選択して目的の業務アプリケーションを起動します。

5. その他

5.1 BizBrowserPDA.exe をバージョンアップする際の注意点

プログラムのバージョンアップを行う場合は、BizBrowser を起動する前に必ず下記の操作を行ってください。この操作を行わない場合、起動時の画面が正常に表示されない場合があります。

- DT-950 のシステムルートフォルダに存在する[Biz]という名称のフォルダを削除する。

5.2 BizBrowserPDA.exe のファイル名について

本プログラムのファイル名 (BizBrowserPDA.exe) を変更して使用することはできません。

6. 添付資料

PC 版(V4)との仕様差異

以上